

国際交流基金開発教材紹介

『教科書を作ろう』

中等教育向け初級日本語素材集

今年3月に『教科書を作ろう 中等教育向け初級日本語素材集』が刊行されました。これは、国際交流基金日本語国際センター制作事業課が海外の中等教育レベルの日本語教育に対する支援の一環として企画・制作したものです。『教科書を作ろう』は、タイトルにもあるように、部分的に利用したり、一部を加工をしたりして、さまざまな教材が作成できる素材集です。この素材集を使って、楽しく日本語が学べるような教材が各国で開発されることを期待しています。

日本語国際センター制作事業課

1 『教科書を作ろう』とは

『教科書を作ろう』は、教材を作るときに参考にできる素材を集めたものです。教材を作る人が必要な部分を取り出したり、ことばや例文を入れ替えたり、翻訳をしたりして、自由に使うことができます。

海外の中等教育レベルの日本語教育は、その目的、学習時間、学習環境などが国や地域によってさまざまです。また、学習者に合った教材がないということもしばしば言われます。この『教科書を作ろう』は、それぞれの地域の事情に合った教材の作成を支援することを目的としています。

『教科書を作ろう』の概要

対象とした使用者	海外の日本語教材作成者 日本語教師
対象とした学習者	海外の中等教育レベルの学習者
学習段階	初級前半
内訳	「せつめい編」A4版 192ページ 「れんしゅう編」A4版 310ページ 付属の音声テープ45分 1本

『教科書を作ろう』は、ことばのしくみと使い方の理解をめざした「せつめい編」と、ことばの定着と使用のための練習を集めた「れんしゅう編」の2編からできています。



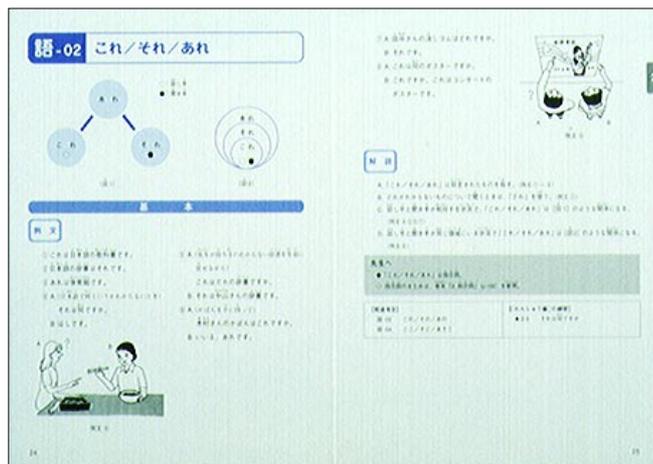
「せつめい編」、「れんしゅう編」、テープ

「せつめい編」と「れんしゅう編」の各編は、共通の12のブロックに分かれています。この12のブロックは学習の段階、つまり学習順序を示すと同時に、図1のように学習者の身近な話題にそった学習を一つの例として示しています。

(図1)

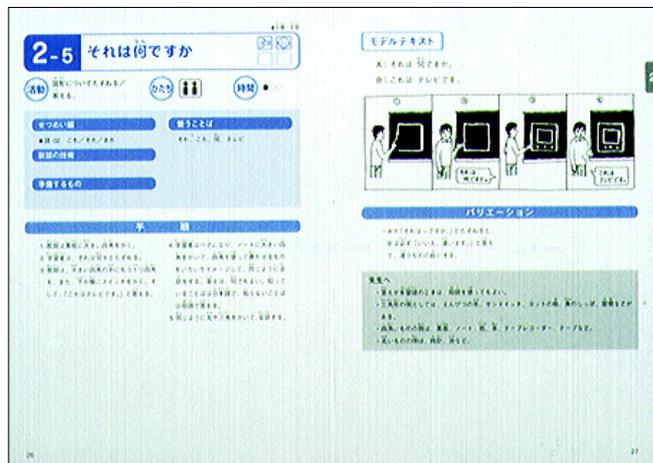


「せつめい編」には、初級前半（日本語能力試験4級相当）の文法・句型84項目の構造と使い方についての説明、及び理解を助けるための例文を載せました。それぞれの項目の説明は、コミュニケーションに最小限必要な知識からより詳しい情報まで、3段階に分かれています。これは、教材作成者が対象となる学習者に合わせて教材に載せる内容を選ぶように配慮したためです。



「せつめい編」語 02 (P. 24, 25)

「れんしゅう編」では、図1で示した12の話題にそった100の練習を紹介しています。同じ教室で学ぶ学習者同士が日本語でコミュニケーションできるようにすることを目標としています。練習の中には、語彙や文型の定着のための基本的な練習、実際に情報をやりとりする応用練習、ゲーム的な要素を取り入れた練習、日本や日本人について知ることができる読解練習などがあり、練習の目的や方法の多様性、四技能のバランスにも配慮しています。



「れんしゅう編」2 5 (P. 26, 27)

2 『教科書を作ろう』の利用

『教科書を作ろう』は本来、教科書を作成するための素材として作られたものですが、そのほかに、「せつめい編」からは学習者用文法書や教師用例文集を、「れんしゅう編」からは会話集、聴解教材、読解教材、作文教材、教室活動集などを作ることが考えられます。また、教師養成や教師研修の教材としても活用できます。さらに毎日の授業のための副教材作成や学習者への説明の準備にも使えます。

3 入手方法

『教科書を作ろう』は非売品ですので、書店などで買うことができません。希望する学校、機関には無料で配布しています。入手を希望する方は、制作事業課に直接ご連絡ください。申込書をお送りします。また『教科書を作ろう』は、個人宛ではなく、学校、機関宛にお送りします。

国際交流基金日本語国際センター制作事業課

〒336 0002 埼玉県浦和市北浦和5 6 36

TEL .048 834 1183

FAX .048 831 7846

なお、以下のホームページでも『教科書を作ろう』の内容を一部紹介しています。

<http://www.jpff.go.jp/j/urawa>

『教科書を作ろう』の中には、アンケートが入っています。今後の事業の参考にさせていただきますので、ぜひアンケートにお答えいただき、みなさんのご意見やご感想を制作事業課までお知らせください。